

## ■「第6回 都美セレクション グループ展公募」応募に関するFAQ

| 質 問         |   | 回 答  |
|-------------|---|--|
| ● 応募・審査に関して |   |  |
| 1           | 展示の日程が「2週間程度」とあるが、応募者が会期日程を指定することはできるか？   | 日程は応募者の希望を考慮しつつ、内容に応じて応募者のご相談の上、美術館で調整させていただきます。   |
| 2           | エントリーシートに必要事項が書ききれない場合はどうすればよいか。  | なるべく収まるように記入してください。どうしても収まらない場合は、別紙を付けて記入してください。   |
| 3           | プレゼンシートに書く「主な出品作家名」と、エントリーシートに書く「全作家数」というのは、どのくらい厳密に書く必要があるのか。<br>また、提出書類(4)の「出品者のプロフィール」とは、プレゼンシートに記した「主な作家」全員のプロフィールということか。 | 提出書類(4)の「出品者のプロフィール」は、出品作家全員分の略歴を作成し提出してください。「出品者のプロフィール」の数は、エントリーシートにある「全作家数」の数と同数となるようにしてください。<br>なお、プレゼンシートについては紙面スペースが限られるため、全出品作家の名前を記入しきれない場合は、「主な作家」として、展覧会を代表する出品作家名を記入してください。 |
| 4           | プレゼンシートに入れる「主な展示作品」の図版は、出品する作品に限るのか、過去の作品でもよいか。   | 展覧会のために新作を制作する予定であれば、過去の作品または、ドローイングイメージ等でも結構です。但し、その場合は、「参考図版」と記し、展覧会の企画主旨が伝わるよう、説明文をつけてください。また、プレゼンシートに記入した計画の内容と実際の展示作品の内容が著しく異なるものにならないようにしてください。                                  |
| 5           | 準備スケジュールとは、どのようなことを書けばよいか。  | 実際に展覧会を行うための計画、予定（作品制作、展示用具の準備、広報計画、搬入、展示の方法、等）の具体的な準備スケジュールをお書きください。  |
| 6           | 展覧会会期は、2017年の6月から7月とあるが、準備スケジュールは、2017年の6月に開催することを想定して考えればよいのか。   | 希望する会期を想定し、そこから逆算しスケジュールを立ててください。審査ではスケジュールの立て方も審査します。ただし、想定した会期のとおり開催できるとは限りません。  |
| 7           | 「展示室は応募者の希望を考慮した上で美術館が決める」とあるが、提出する展示プランは3つのギャラリーすべてに関するプランを提出する必要があるのか？  | 希望するギャラリー1室のプランをご提出ください。   |
| 8           | 選考に通った場合、応募時に希望した展示室とは違う展示室を使用することになる場合もあるのか。   | 応募者の希望を考慮にいれ、美術館で調整いたします。必ずしも希望の展示室になるとは限りません。   |
| 9           | エントリーシート提出後に出品作家の人数を変更してもよいか。   | なるべく変更のないようにしてください。提出後に変更することになった場合は、担当者にご連絡ください。  |
| 10          | 「応募は未発表のものに限る」とあるが、卒展などに出品した作品や過去に展示したことのある作品を出品することは可能か？   | 展覧会の企画内容は未発表のものに限りませんが、出品作品は過去に発表したものでも構いません。  |
| 11          | 審査に際し、作品の目新しさと従来の表現ではどちらが重視されるのか？   | 美術館としては幅広く多様な表現の発表の場となることを期待しています。東京都美術館で実施する意義のある、当館の展示室だからこそ実現するようなグループ展企画の応募をお待ちしています。  |

## ■「第6回 都美セレクション グループ展公募」応募に関するFAQ

| 質 問              |  | 回 答   |
|------------------|--|---|
| ● 展示室に関して        |  |   |
| 12               | ギャラリーA、B、Cは、リニューアル前には彫塑室とギャラリーと呼ばれていた展示室か。   | 同じ場所と考えていただいて結構です。ただし、エスカレーターやエレベーターが新たに設置されていますので、大きさは以前とまったく同じというわけではありません。ギャラリーBの展示室については、改修前の約3分の1程度の広さとなっています。   |
| 13               | ギャラリーAの吹き抜けを活かした展示効果として、天井から作品を吊り下げることが可能か？  | ギャラリーAの天井部分には吊るすことのできる造作がないため、天井から吊り下げることができません。  |
| 14               | ギャラリーAの壁面はコンクリートとなっているが、壁面に作品を掛けることは可能か？   | バトン（横棒）という簡易な装置で大型作品をかけることが可能です。また、仮設壁を設置できますので、そこに掛けることも可能です。展示方法の詳細については決定後の打ち合わせでご相談いたします。   |
| 15               | ギャラリーBの天井から作品を吊るすことは可能か。   | 軽量のものであれば、天井に装備している仮設壁用のレールから吊るすことが可能です。重量の制限等の展示方法の詳細については、決定後の打ち合わせでご相談ください。  |
| 16               | ギャラリーCについて、天井高の高い部分は何の部分か？   | ギャラリーCのうち、エスカレーターを挟んで手すりのある側が天井高約5.8mの部分、その反対側の空間が天井高約2.4mの部分です。  |
| 17               | 各展示スペースの床や壁の素材と色は？   | 床はせっ器質タイルで、色は美術館の外壁のタイルと同じような赤褐色です。図面に記載の材質および、第1回展の記録集に掲載の展示風景写真を参考にしてください。  |
| 18               | 壁と床が同じ色の場所はあるか？  | ギャラリーA、B、Cともに、壁面と床の色は図面に記載のとおりです。   |
| 19               | 仮設壁の仕様を教えてください。  | ギャラリーAは、上部にワイヤー、床にレールを設置して、仮設壁を固定します。ギャラリーBは、天井のレールと、床に設置するレールで、仮設壁を固定します。ギャラリーCは、天井の高い空間の開口部については、上部にワイヤー、床にレールを設置して仮設壁を固定します。ギャラリーCの天井の低い空間は、天井のレールと、床に設置するレールで仮設壁固定します。いずれのギャラリーについても、仮設壁の寸法は、幅90cm、高さ290cmとなります。ただし、ギャラリーCの天井の低い空間は、仮設壁の寸法が幅90cm、高さ230cmです。 |
| 20               | ギャラリーを一度に2室使用することはできるか。  | 2つのギャラリーを一度に使用することはできません。展示プランの関係から、区切られた空間を使用したい場合は、たとえば、室内が2つのスペースに分かれているギャラリーCを希望していただくか、あるいは仮設壁を利用してスペースを区切るという方法をお考えください。  |
| ● 搬入、展示、撤去作業に関して |  |   |
| 21               | 応募要項の「応募者の負担」のなかに「会場の設営、展示、撤収にかかわるすべて」とあるが、参加者がすべての作業を行うということか？  | すべての作業を応募者の責任のもとで行っていただきます。実際の作業を応募者自身が行うか、協力者、あるいは業者に委託する等については、応募者自身でお決めください。   |
| 22               | 開催日程の日数の中に、「搬入出・展示・撤去作業の日程を含む」とあるが、たとえば、開催日数が14日間だった場合、作業に4日間を要するとすると、展示期間は残りの10日間となるということか？<br>また、展示作業を初日の午前中に行い、午後から展示会をオープン。最終日の午前中まで展示会を開催し、午後から撤去ということは可能か？ | 開催日程の中には搬入、展示、撤去、搬出までの作業を含みますので、作業で要した日数の分だけ展示会の会期は短くなります。なお、日数のなかですべての作業が完了できるのであれば、初日の午前中に展示作業をし、午後から最終日の午前中まで展示会を開き、午後に撤去作業ということは可能です。なお、具体的な日程につきましては2次審査後に確定いたします。   |

## ■「第6回 都美セレクション グループ展公募」応募に関するFAQ

| 質 問   |   | 回 答   |
|-------|---|---|
| 23    | 搬入可能な作品のサイズは？   | 搬入用のエレベータや搬入経路のサイズの事情により、以下のサイズ内で搬入してください。大きなサイズの作品は、パーツに分けて梱包、搬入し、展示室で組み立て作業を行ってください。また、展示室の耐荷重はギャラリーA、Bが1㎡あたり1トン、ギャラリーCは1㎡あたり600キロです。<br>・ギャラリーA、B：2500mm（幅）×3700mm（奥行き）×2900mm（高さ）<br>・ギャラリーC：1700mm（幅）×3700mm（奥行き）×2300mm（高さ） |
| 24    | 搬入可能な時間帯は？  | 搬入出、展示撤去作業は、9時30分から17時30分までに行ってください。  |
| 25    | 展示台を使用する場合、美術館が指定する規格はあるか？  | 搬入可能なサイズ内であれば特に規格の指定はありません。   |
| ● その他 |   |   |
| 26    | 展覧会の主催者名は？  | 参加するグループと東京都美術館との共催となります。   |
| 27    | 今回は第6回だが、7回目の展示は新たに公募をするのか？   | 毎回新たに公募を行います。第7回展は来年度に新たに公募と審査を行う予定です。  |
| 28    | 各展示室の応募倍率ほどのくらいか。前回のデータがあれば教えてほしい。  | 選考はあくまで、展覧会内容をもとに行うので、希望展示室の倍率で合否が左右されることはありません。そのため、前回のデータは集計しておりません。  |
| 29    | 第5回展で採用され、高評価を得たグループが、その結果をふまえて第6回展にも採用されることはあるか。                                 | 審査は毎回、提出される応募書類をもとに行います。前回との継続性はありません。  |
| 30    | 応募要項の「注意事項」に、営利目的での使用はできません、とあるが、展覧会を開催したときに、仮に作品を購入したいという要望がある場合は、どのように対応すればいいか。 | 当館展示室内で、作品の値段を明示したり、展示室内で直接的な交渉をすることはできません。   |
| 31    | 出品者は現存作家に限られるのか。  | 展覧会の内容に必要な作品であれば、現存しない作家の作品を含めることも可能です。   |
| 32    | グループによる写真展を開催したいが、実績がない。応募することは可能か。また、グループ全員の作品に統一性がなくてもよいのか。                     | グループによる写真展の実績がない場合でも、展覧会開催の実績があれば、応募条件を満たすこととなります。但し、作品の統一性については、展覧会の趣旨及び、当館展示室で開催する意義を含めご検討ください。   |